

大学院単位認定

この公開講座・セミナー・シンポジウム等は大学院医学研究科の単位認定対象となっております。単位認定の条件や対象科目等は下記をご確認ください。

単位認定条件

大学院生の方は、受講後、「出席票」を教務課(大学院担当)までご提出ください。
出席票は、履修管理システムからダウンロードすることができます。

【履修管理システム】

博士課程 : <http://lms.juntendo.ac.jp/>

修士課程 : <http://mst.juntendo.ac.jp/>

認定科目

【博士課程】

Current Topics ※必修「大学院特別講義」に振り替えることはできません。

【修士課程(医科学コース)】

選択科目「**大学院セミナー**」

第64回

難病・遺伝医学 セミナー

講演：ゲノム医療における遺伝カウンセリングの未来

2025年

7月16日

水

18:00-19:00

順天堂大学10号館1階105カンファレンスルーム

講師紹介：四元 淳子先生

(埼玉医科大学ゲノム医療科 認定遺伝カウンセラー・公認心理師)

座長：岡崎康司 (難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

司会：村山圭 (難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

概要：ゲノム医療の進展は、遺伝性希少疾患の正確な診断だけでなく、病因の解明を通じた創薬や個別化医療の実現にも大きく貢献している。疾患関連遺伝子の同定は、新規治療薬の開発や臨床試験の対象選定に不可欠であり、ゲノム情報に基づく診断と治療が連動する時代が始まっている。

一方で、将来的な発症リスクに関する不確実な情報の開示、ゲノム医療と生命保険との関係、さらに現行のガイドラインの想定を超える事例への対応など、新たな課題も顕在化し、遺伝カウンセリングの需要も高まっている。こうした複雑な状況において、ゲノム医療の従事者には、医学的・倫理的観点に基づいた適切な情報提供、心理社会的支援、家族間の調整、多職種連携の中核を担うことが強く期待されている。

本講演では、実際に着床前診断を背景として、血縁内にとどまらない保因者診断の希望が提示された事例などを紹介しながら、ゲノム医療における遺伝カウンセリングの倫理的支柱としての役割、そして患者とその家族とのコミュニケーションのあり方について、少し先の未来を見据えた視点から考察する。

申込方法：以下の申込フォーム・QRコードよりお申込みください。

※開催日までに詳細と招待URLのご案内メールをお送り致します。

<https://forms.gle/FW9BQ23ps6ejaawWA>

本講演はハイブリッド形式 (現地 + Zoom)

にて開催いたします。



7月15日 (火) 17時締切

お問い合わせ

難病の診断と治療研究センター/ゲノム診療センター

村山/金野 (内線72462/5794)

共催：順天堂大学大学院医学研究科

順天堂大学大学院HP

